

サプライヤーさまとのパートナーシップ

NISSHAグループは、生産に必要な原材料・部品・機器・サービスなどを、多くのサプライヤーのみなさまから調達しています。サプライチェーンを構成するサプライヤーさまと「社会的責任」の意識を共有し相互の企業価値を高めるため、「購買基本方針」に基づいたCSR調達を推進しています。

購買基本方針

NISSHAグループは、Missionを実現するために、誠実な購買を通して、サプライヤーのみなさまと相互の信頼関係を構築します。

NISSHAグループは、サプライヤーのみなさまに対して、常に公平・公正、そして総合的に次の項目で評価いたします。

1. 安定した経営基盤と信頼できる経営姿勢
2. 優れた技術開発力、安定した供給力と高品質なサービス提供力
3. 事業環境の変化に対する適応力
4. 製品・サービスの安全性、安定した品質、競争力のある価格と納期
5. 実効性が保証された事業継続の取り組み

NISSHAグループは、サプライヤーのみなさまとともに 次の項目に取り組み、CSR調達につとめます。

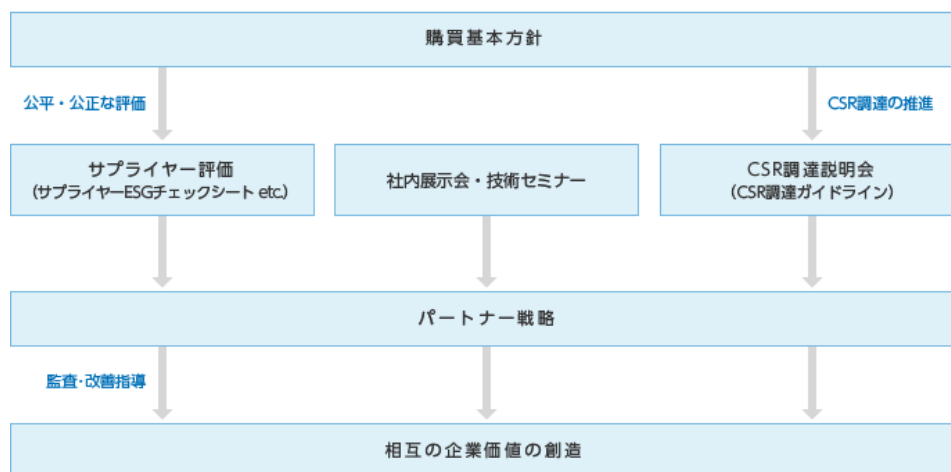
1. 労働・人権
2. 安全衛生
3. 環境保全
4. 倫理
5. 情報セキュリティ

制定 2009年4月2日

改訂 2018年1月1日

NISSHA株式会社
代表取締役社長 兼 最高経営責任者
鈴木 順也

CSR調達推進の基本的な考え方

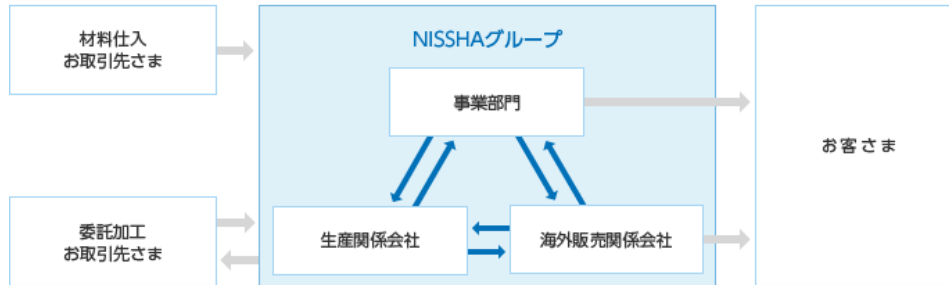


真のグローバル企業としての調達・購買 ⇒ 公平・公正な評価/CSR調達

サプライチェーンの広がり

NISSHAグループは、事業を行うにあたり、さまざまなサプライヤーさまと協働しています。サプライチェーンはグローバルに展開しています。

NISSHAグループの主なサプライチェーン



サプライヤーさまのCSR監査

当社は、サプライヤーさまを対象としたCSR監査を実施しています。この監査の多くは、電子業界や自動車業界などの行動規範であるRBA (Responsible Business Alliance) 行動規範および同規範をベースとしたお客さま独自の行動規範を基準とするもので、労働・人権、安全衛生、環境保全、倫理、マネジメントシステムの5分野にわたります。監査に先立ち、CSR監査を行う背景と目的、監査基準や監査の進め方などについて説明を行った後、監査を実施しています。監査では、就業規則や勤務記録の確認、クリーンルームを含む敷地内のサイトツアー、さらに社員を対象としたインタビューなどを行います。不適合が指摘された場合には、サプライヤーさまに指摘事項に対する是正措置 (CA: corrective action) ・予防措置 (PA: preventive action) を取り決めていただきます。そして、約3カ月後に、CA・PAが実際に行われれば正が完了したことを監査員が確認し、CSR監査が終了します。

2014年度以降、特に重要なサプライヤーさま、新規のサプライヤーさまを対象に監査を進めています。2018年度は、ナイテック・プレジジョン・アンド・テクノロジーズ株式会社 (NPT) での量産の本格化に伴い、特に人権に関連する項目がハイリスクであると認識し、新規の人材派遣会社1社さまを対象に実施しました。これまでに実施した18社と合わせてのべ19社となり、指摘総数は187件 (労働人権: 88件、安全衛生: 53件、環境: 29件、倫理: 12件、マネジメントシステム: 5件) となりました。主な指摘事項には、労働時間の管理や退職時のフローに関するものなどが含まれています。

2019年度は、RBA行動規範をベースとしたSAQ (自己問診票) を用いてCSR調査をすすめます。これは、過去にCSR監査を行ったすべてのサプライヤーさまを対象とする定例の年次評価としての位置づけになります。回答内容を確認した後に懸念されるべき状況を確認した場合には、社内資格を保有する監査員による実地のCSR監査を行う計画です。

CSR調達ガイドライン (項目)

1. 労働

- 1) 労働の自由
- 2) 若年従業員
- 3) 労働時間
- 4) 賃金および手当
- 5) 人道にかなった待遇
- 6) 差別の排除
- 7) 結社の自由

2. 安全衛生

- 1) 職務上の安全
- 2) 緊急時への備え
- 3) 労働災害および疾病
- 4) 産業衛生
- 5) 身体に負荷のかかる作業

- 6)機械の安全対策
- 7)衛生設備、食事、および住居
- 8)安全衛生のコミュニケーション

3. 環境

- 1)環境許可と報告
- 2)汚染防止と資源削減
- 3)有害物質
- 4)固形廃棄物
- 5)大気への排出
- 6)材料の制限
- 7)水の管理
- 8)エネルギー消費および温室効果ガスの排出

4. 倫理

- 1)ビジネスインテグリティ
- 2)不適切な利益の排除
- 3)情報の開示
- 4)知的財産
- 5)公正なビジネス、広告、および競争
- 6)個人情報の保護と報復からの保護
- 7)責任ある鉱物調達

5. 情報セキュリティ

- 1)情報管理体制の構築
- 2)お客さま・第三者の機密情報の漏洩防止
- 3)コンピュータ、ネットワーク上の脅威に対する防御および電子記録媒体の管理
- 4)個人情報の漏洩防止

ESGチェックシート（分野）

- 1. 認証
- 2. 労働・人権
- 3. 安全衛生
- 4. 環境マネジメント
- 5. 情報セキュリティマネジメント
- 6. 倫理
- 7. マネジメントシステム

購買人材の育成

購買基本方針に沿って、サプライヤーのみならず公平・公正で誠実な取引を推進するため、国内NISSHAグループの購買に関わる社員を対象に購買教育を体系的・継続的に行っています。

2018年度購買人材育成の取り組み

購買新任者教育

国内NISSHAグループの購買部門への入社、異動による転入者に、購買業務に携わる上で知っておかなければならない基礎知識の修得のため、購買新任者研修を実施しました。



購買基礎教育(eラーニング)

講習・研修	2018年度受講者数
購買新任者研修	11人（出席率100%）
購買基礎教育(eラーニング)	333人（出席率100%）